

ゆりかごだより



2022.5月発行 No.63

鮮やかな緑が眩しい季節になりました。新年度がスタートして早1か月。新しい環境になり疲れが出たり、生活リズムが整わず体調を崩してしまったりすることもあります。十分な睡眠をとるなど、ゆったり過ごせるようにしましょう。今回はゆりかごの“備え”についてご紹介します。

救命講習を実施しました

コロナの影響により、人と人が接触する実技などの訓練はやりにくくなっています。そこで今回は Zoom のビデオ会議を活用してリモートで実施しました。



消防署からお借りした DVD の画面を共有しながら、それぞれの自宅で実技を行いました。

動画のテンポに合わせて胸骨圧迫



AED パットに見立てたカードを置いて

心肺蘇生トレーニングキットを使用→

ハート型の心臓部

「キュッキュッ」と音が出て、しっかり圧迫できているか確認できます



ゆりかごでは、もしもに備えて毎年スタッフ全員でトレーニングしています。

コロナ禍で AED の使用率と救命率が低下しています。突然の心停止はどんな年代でも起こりえます。皆さんもお近くの消防本部などの講習会に参加してみましょう。



毎月の訓練時には点検を

保育中に地震がおきてライフラインが止まったら、避難所に行く場合は、など色々な場面を想定して、月に一度訓練を実施しています。



◇役割分担

◇避難ルートの確認

・避難用のベビーカーの動作チェック



◇非常用持ち出しリュックの中身を確認

・電池・ラジオの充電など
・水・粉ミルク・おかゆ
・ビスケットなどの賞味期限



棚の固定確認



蛍光灯は落下しても割れにくく飛び散らないものを設置しています



最近地震が多いので、訓練の大切さを再認識しています。いざというときにお子さんを守るように、備えの確認と改善に努めています。



看護師より

おひさまの子カラ

5月になり日差しがだんだん強くなってきて、紫外線も気になるころです。紫外線はシミなど肌のトラブルを起こしたり、浴び続けることで皮膚がんの原因にもなりますが、その一方で、体内で**ビタミンD**を生成するために必要なものです。**ビタミンD**は骨や筋肉の成長に必要なカルシウムの吸収を助け、免疫力を高める作用のある栄養素です。近年過度な紫外線対策により**ビタミンD**不足の子どもが増えていると言われています。**ビタミンD**欠乏症になると、ひどいO脚（**ビタミンD**欠乏性くる病）になることがあります。紫外線によるダメージは避けながら、1日15分程度はおひさまに当たる工夫をしましょう。強い日差しの時間帯を避けたり、薄い長袖の衣服や帽子などを利用したり、日陰で遊んだりすることでも効果が期待できます。



訪問型病児保育はこちら▼

堺市訪問型病児保育センター



病児保育室ゆりかご

お問い合わせ・事前登録のご予約はこちらから ▶ ☎ 072-234-6880

[受付時間] 平日 8:00~18:00
〒599-8247 堺市中区東山 1042-1

<http://yurikagonetwork.com/hoikushitsu/>

ホームページはこちら▶

